

窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO

TOSO
color

第80期のご報告

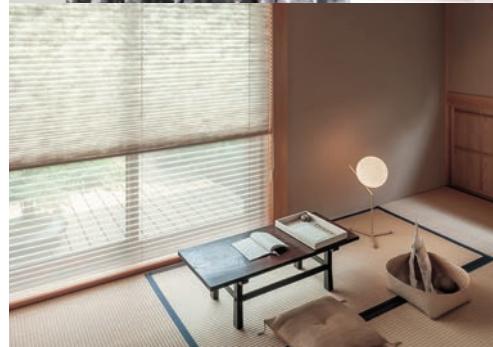
2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

トーソー株式会社

(東証2部 証券コード：5956)

窓辺をかえる、明日が変わる。

この言葉には、私たちトーソーの思いが込められています。
「窓辺をかえる」には、
世界のライフスタイルの変化を見つめ、
アイデアと技術の躍進を図りながら、
つぎつぎと新しい製品を開発し、
お客様の窓辺を演出していくことを表現しています。
また、「明日が変わる」には、
トーソーが演出する窓辺を通じて、
お客様の毎日を、そして明日を
より魅力的なものにしたいという願いが込められています。
そのために、私たち自らも明日にむかって変わり続けていきます。
窓辺をかえる、明日が変わる。
新しいトーソーがここから始まります。



経営ビジョン「Vision2025」達成に向け、 成長戦略の推進や生産性向上等の取り組みを強化

平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調にて推移しておりましたが、後半には新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の経済に及ぼす影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が強まりました。当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましても、全体では前年を下回る水準で推移しており、厳しい状況が続いています。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）最終年度として、引き続き原価低減活動や生産性の向上等への取り組み、非住宅領域の獲得強化や海外事業、新規領域への営業活動を展開しました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は22,687百万円（前期比0.2%増加）、営業利益は900百万円（前期比30.9%増加）、経

常利益は884百万円（前期比26.1%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は583百万円（前期比31.0%増加）となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による世界的な経済活動の停滞に加え、国内の個人消費や住宅投資の低迷、人手不足を背景とした物流費の上昇等もあり、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、経営ビジョン「Vision2025」の実現に向け、住宅分野の深耕とあわせて非住宅領域、海外販売、介護関連用品等の新規ビジネス領域の拡大に取り組み、持続的な企業成長を図ってまいります。また、引き続き高収益体質への転換と競争力強化にも取り組みます。なお、配当に関しましては、安定配当の継続を重視する基本方針に従い、前期同様の期末配当を決定しております。株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻のほど何卒宜しく願いいたします。



代表取締役社長

前川 圭二

■ 1株あたり配当金の推移

	第79期 (2019年3月期)	第80期 (2020年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	5円	5円
合計(年間)	10円	10円



詳細な決算説明を動画で公開しています。是非ご覧ください。



「Vision2025」中期経営計画 第2フェーズが始動（2020～2022年度）

売上高

270 億円

「Vision2025」第2フェーズでは、これまで培ってきた
企業力を活かしながら、
持続的な成長を実現するために、
TOSOらしいこれからの
新たな企業価値創造を目指します。

2023
▼
2025
年度

2020
▼
2022
年度

Phase2

成長戦略の
本格推進

2016
▼
2019
年度

Phase1

高収益体質への転換
成長戦略の見直し

Vision
2025

2019



創立70周年

第2フェーズ（2020-2022年度）

売上高

240 億円

ROE

6%以上

「Vision2025」 第2フェーズ グループ中期経営方針 重点施策

ROE

8%以上

最終
目標

Phase3

成長戦略の
成果発現

もっと
詳しく

目標経営指標

重点施策を着実に実行することで成長戦略を本格的に推進。目標経営指標に掲げている売上高、自己資本利益率（ROE）の向上に努めてまいります。

1 コアビジネスにおける「TOSO」特有の新しい企業価値創造 ～TOSOらしいコアビジネスの維持・拡大～



カーテンレールNo.1メーカーとしての当社優位性の極限化による維持・拡大



「選びやすいTOSO」を軸とした収益改善と新たな付加価値提案による維持・拡大



コアビジネス商流を活用した住宅窓周辺領域の維持・拡大



グループ企業の役割強化（生産・物流・顧客サポート）による維持・拡大

2 成長戦略への重点投資による事業領域拡大 ～【事業規模拡大】の本格推進～



営業体制強化による医療・介護、宿泊施設等の獲得推進



保有技術や機能・機構等を活用した既存製品の販売領域拡大



効率・効果的な海外ビジネス拡大に向けた取り組み強化



歩行関連事業（フジホーム）深耕と新たな事業へのチャレンジ

3 持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備 ～TOSO財産の確実な継承と企業体制～

- ① 市場提案と顧客満足度向上に向けた取り組み
- ② 社内固有技術・技能の確実な継承
- ③ 従業員のための働きやすい環境・制度の整備
- ④ ESG・SDGsへの取り組み

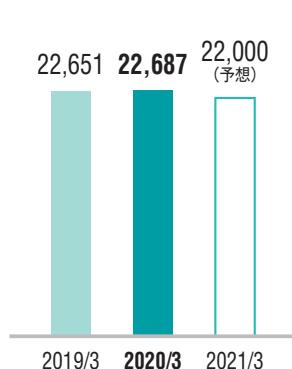


POINT

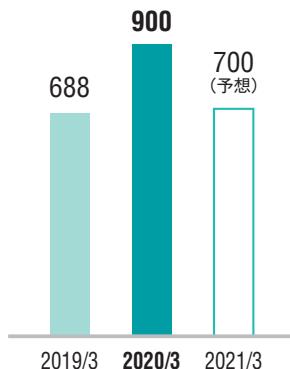
- ・経営ビジョン「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）最終年度として、成長戦略を推進。
- ・原価低減活動や生産性の向上等への取り組みを進め、収益改善に尽力。

(単位：百万円)

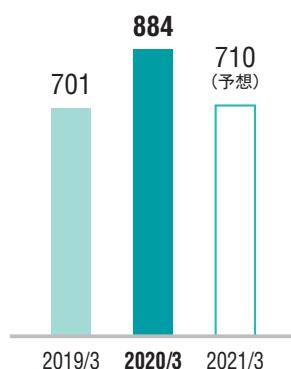
売上高



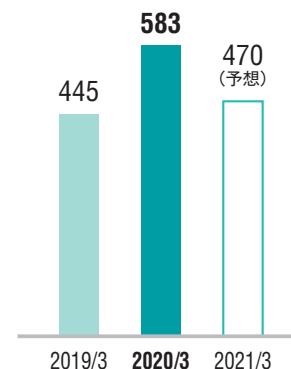
営業利益



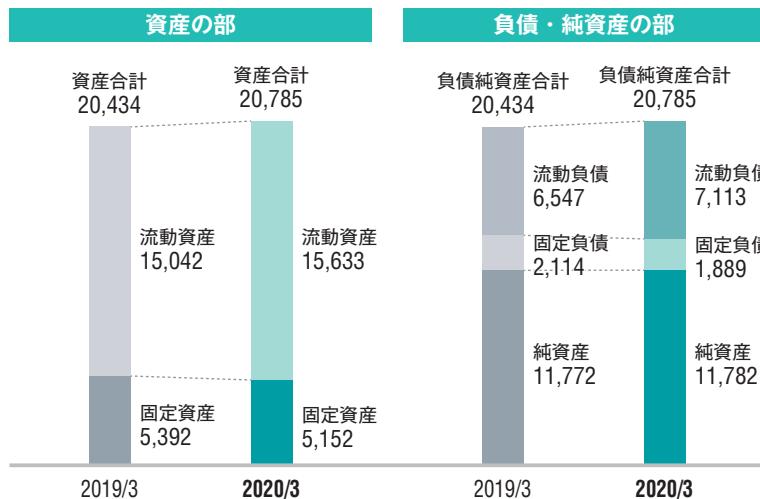
経常利益



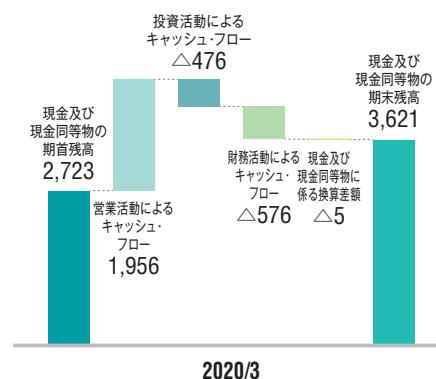
親会社株主に帰属する
当期純利益



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



業績の詳細につきましては
こちらから →



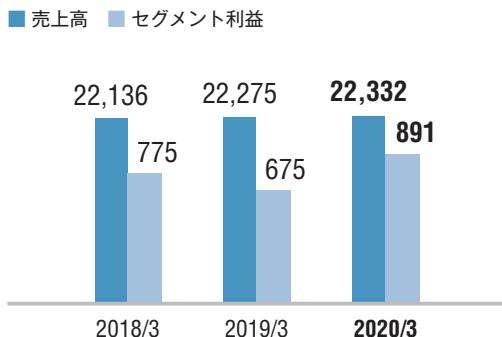
セグメント別営業概況



国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。

当期の営業概況

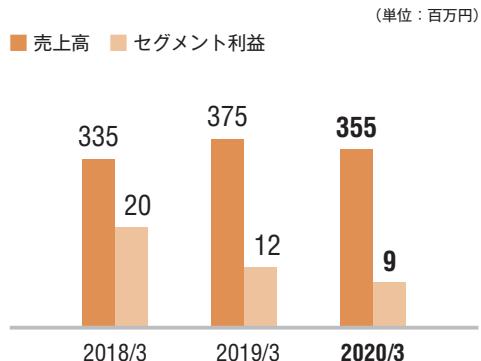
室内装飾関連事業では、消費税後の住宅市場が低迷する中で、新製品を中心とした展示会「トソーウインドウファッションフェア」やカーテンメーカーとの合同発表会として13回目となる「with Curtains」等のイベント開催、また非住宅市場の販路拡大を目的とした「鉄道技術展」への初出展のほか、宿泊施設を中心とした物件獲得活動を展開したことで、売上高は22,332百万円（前期比0.3%増加）となりました。セグメント利益は、資材歩留まり改善等の原価低減活動や生産性向上の推進に努め、891百万円（前期比31.9%増加）となりました。



ステッキを中心とした介護関連用品を開発、販売しております。そのほか、グループの物流事業請負業務をおこなっています。

当期の営業概況

その他の事業では、ステッキやシルバーカー等の介護関連用品の販売活動を強化し、「国際福祉機器展」への出展や新製品のプロモーション等により営業活動を強化しましたが、販売関連費用の増加等の影響を受けた結果、売上高は355百万円（前期比5.3%減少）、セグメント利益は9百万円（前期比24.0%減少）となりました。



非住宅領域拡大に向けた取り組み

鉄道に関わる企業が多数出展する 「第6回鉄道技術展」に出展

2016年度よりスタートしている経営ビジョン「Vision2025」では、成長戦略の1つとして非住宅領域の拡大を掲げており、その取り組みの一環として2019年11月に幕張メッセで開催された「第6回鉄道技術展2019」に出展いたしました。本展は、車両や踏切、システム等の鉄道に関わる企業が出展している展示会です。

なぜ鉄道?と思われるかもしれませんが、鉄道の窓にもロールスクリーンがついており、当社の保有技術や機能・機構を活かすことができると考えています。住宅用ロールスクリーンでは一般的な機能であっても、鉄道業界では知られておらず、画期的と言われることも。

非住宅領域と一口に言っても、ホテルや病院などの建物もあれば、鉄道のような建物以外にも需要はあります。鉄道業界含め他業界での当社の認知度はまだまだ低いですが、非住宅領域の売上拡大に向け、今後は鉄道業界のみならず、当社の保有技術や機能・機構が活用できる分野へ引き続き企業・製品のPRを行ってまいります。



こんなところにも「TOSO」の
保有技術や機能・機構が活用されています



ホテル



病院



電車



商品情報はコチラ

表紙写真コーナー

あなたの知らないブラインドの世界

外から見たときの陰影も美しく、つけるだけで上質感を演出できる「バーチカルブラインド」。オフィスで使用するイメージがありますが、ワイドサッシや吹き抜けの窓にもきれいに納まり、開け閉めや調光もお手軽で、住宅にも適しています。

TOSOのバーチカルブラインドは、ボタンを使ってカーテンのように簡単に開け閉めできるのが特徴。写真のように片手に洗濯物などを持ったまま、さっと開けられます。ちょっとした機能ですが、実際に使う人の気持ちになって開発した当社独自の機構です。これからも皆様の暮らしがより快適で、より魅力的になるような商品の提案を進めてまいります。

2019
10月

カーテンメーカーの合同発表会 「with Curtains2019」を大阪で開催

「with Curtains」はインテリアテキスタイルの合同発表会。13回目を迎える今回は初めて大阪で開催いたしました。日本を代表するカーテンメーカーのマーケティング・商品開発担当者より、自社製品の開発背景やセールスポイント、コーディネート提案などを発表いただいたほか、会場にはコーディネート実例などを展示しました。当社はカーテンレールのトップメーカーとして、これからもカーテンとともに歩み、カーテンを楽しむ文化をより多くの人に広めていきたいと考えています。



10月

グループ企業「フジホーム」より 新室内用ステッキ「Twin Z Stick」を発売

介護関連用品を扱うフジホーム株式会社が2019年に発売した室内用ステッキ。歩く時だけでなく、左右のグリップをそれぞれ持つと、立ち・座りにも使用可能で、腰・膝への負担が軽減できます。2本のシャフトが交差する特徴的なデザインは、インテリアとの調和にもこだわりました。本体は、リサイクル性も高く、強くても軽いマグネシウム合金を採用し、グリップ部分は結婚式場で使用したシャンパンコルク栓のリユース。その加工は障がい者の方々に依頼しており、安全性はもちろん、環境や人によさしい製品です。



12月

2019年12月2日よりロールスクリーン・ パーチカルブラインド新製品を全国で発売開始

「日中は部屋に光を入れたいけれど、夜は外から見られたくない」、「西日を抑えたいけれど、部屋を真っ暗にはしたくない」というようなインテリアの困りごとをよく耳にします。そこで、透過性を抑えて夜でも外から見えにくくしたスクリーンを新たにラインアップ。窓によって求められることは様々で、プライバシーを保つことや、光の取り入れ方など機能面はもちろん、あらゆる空間に馴染むカラーや、質感・素材感のあるスクリーンを開発しました。これからも当社は快適な空間づくりに応えていきたいと考えています。



2020
3月

「インテリアトレンドビジョン2020」 2020年3月より発売中

世界のインテリア見本市と、最新のインテリアトレンドを紹介する書籍「インテリアトレンドビジョン2020」（佐戸川和久著／ゼロファーストデザイン）を全国書店で発売しました。2004年から毎年発行している本書は、インテリアトレンドブックのロングセラーです。2019年に開催された国内外の展示会の情報や、各メーカーやデザイナーから発表される新作情報も満載。これからも当社は出版事業を通じて、インテリア商品や海外のトレンド等を、業界のプロから一般の読者まで、幅広い対象に向けて発信し続けます。



株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株主への投資魅力を高めることなどを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待制度内容（割当基準日：3月末日）

保有株式数	継続保有期間*	株主優待内容
100株以上 300株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満	3年以上 図書カード1,000円贈呈
300株以上 500株未満	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（1,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
500株以上 1,000株未満	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
1,000株以上	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（4,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付



優待品
(例)

※継続保有期間とは、同じ株主番号で株主名簿基準日（毎年3月31日及び9月30日）の株主名簿に、1単元（100株）以上の保有を下記のとおり、連続で記載されていることをいいます。

1年未満 直近株主名簿に記載が2回以下 1年以上3年未満 直近株主名簿に連続3回以上6回記載 3年以上 直近株主名簿に連続7回以上記載

「1年以上3年未満」の初回継続保有期間の起算日は2019年3月末、「3年以上」の初回継続保有期間の起算日は2017年3月末とします。

インドネシア共和国に おける植林活動

累計本数 **11,800本**

(2020年3月末日現在)

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。ご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。当期は378,000円を寄付させていただき、メンテナンスを実施しました。木は成長過程において空気中のCO₂を吸収し、その吸収量は木の成長に伴い増加します。木が順調に成長し、CO₂吸収量を増加させるためにも、植樹と併せてメンテナンスが必要です。今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 (2020年3月31日現在)

会社名	トーソー株式会社
英文社名	TOSO CO.,LTD.
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
電話	03(3552)1211(代)
設立	1949年9月
資本金	11億7,000万円
主な事業内容	インテリア製品の開発、製造、販売 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-28)第16989号 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場
従業員数	連結915名 単体560名

【役員】(2020年6月30日現在)

《取締役》

代表取締役社長	前川圭二	(マエカワ ケイジ)
専務取締役	結束正	(ケツソク タダシ)
取締役	八重島真人	(ヤエシマ マコト)
取締役(監査等委員)	堀住浩一	(ホリズミ ヒロイチ)
社外取締役(監査等委員)	久保英幸	(クボ ヒデユキ)
社外取締役(監査等委員)	江角英樹	(エスミ ヒデキ)

《執行役員》

上席執行役員	庄中基秋	(ショウナカ モトアキ)
上席執行役員	栗山忠久	(クリヤマ タダヒサ)
上席執行役員	林淳之	(ハヤシ アツユキ)
執行役員	本多敏光	(ホンダ トシミツ)
執行役員	伊藤健一	(イトウ ケンイチ)

【事業拠点一覧】

営業拠点	札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所14カ所
国内工場	つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)、兵庫工場(兵庫県)
物流拠点	流通センター(茨城県)、流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、福岡配送センター
ショールーム	トーソープラザ(東京ショールーム、大阪ショールーム)
連結子会社	サイレントグリス株式会社 トーソーサービス株式会社 フジホーム株式会社 トーソー流通サービス株式会社 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア 東装窗飾(上海)有限公司

株式情報 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	10,000,000株
株主数	11,014名

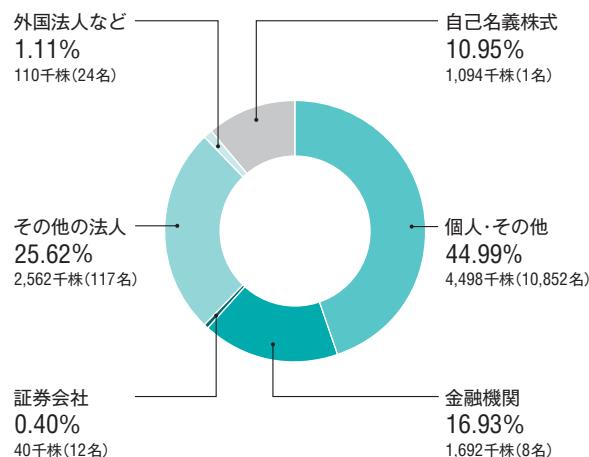
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トーソー取引先持株会	463	5.20
株式会社みずほ銀行	422	4.74
十和運送株式会社	414	4.65
トーソー社員持株会	412	4.63
株式会社三菱UFJ銀行	338	3.79
第一生命保険株式会社	222	2.49
株式会社きらぼし銀行	216	2.43
株式会社常陽銀行	215	2.41
みずほ信託銀行株式会社	200	2.24
日金スチール株式会社	171	1.92

(注1)持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2)当社は自己株式1,094千株を保有しております。

所有者別分布状況(株式数)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
ホームページアドレス	https://www.toso.co.jp
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル) 取次事務はみずほ信託銀行株式会社(トラストラウンジを除く)、株式会社みずほ銀行、みずほ証券株式会社(カスターマープラザを除く)の各本店でおこなっています。
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

IRサイトのご案内

当社グループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。株主の皆様からのご意見・ご質問もお受けしておりますので、メール等にてお気軽にお寄せください。



<https://www.toso.co.jp/ir/>

TOSO IR

検索



トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
<https://www.toso.co.jp> 証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。